

まちづくり市民会議 第2小委員会議事録⑨

■日 時 2008年5月13日（火） 午後6時30分～午後8時30分

■場 所 太田市役所 10階 政策推進会議室

■出席者 委員6名 西村委員長、森尻副委員長、内田、神谷、栗原、福島
市2名 石川、正田
※欠席委員 荒井、後藤

【概要】

1. 会議の目的

- ・今回は、柱となる3つのテーマのうち3つ目である「環境」について議論する。

2. 会議の内容

（1）資料説明について

- ・森尻副委員長が、食改推と伝統文化に関する資料の説明をした。
- ・西村委員長が、意見用紙と環境に関する資料の説明をした。

（2）環境について

西村委員長の意見用紙を基に議論した。

●全般

- ・太田市は、環境問題に積極的に取り組んでいるが、市民への広報が不足しているのではないかと。
- ・県と市の基本計画等の政策に微妙なずれがある。県と市は連携して同歩調をとって政策を実行してもらいたい。

●冊子等について

- ・国や県、市で様々なパンフレットや冊子を作成しているが、その存在を市民は知らないのと、どのようなものがあるか一元化し整理する必要がある。
- ・たくさんの優れた冊子があっても、市民がすべてを入手するのは困難である。そこで、内容を広く市民に周知するためにも、部分的に広報で連載していくのはどうか。
- ・環境白書等は専門的資料で難しいため、一般市民向けに、内容をわかりやすく作成したものを配布することで、市民の環境意識の高揚を図れるのではないかと。
- ・様々なパンフレットや冊子を貴重な予算を使って作成しているが、成果の検証はおこなわれているのか。

●地球温暖化防止について

- ・企業や家庭など全ての部門で対策をとっていかねばならない。
- ・資料「日本のエネルギー2008」によると、企業ではある程度対策が進んでいる。家庭部門がいかにエネルギー消費量を抑えるかが重要である。

- ・次世代エネルギーパーク構想について「広報おおた」に掲載されていたが、何かエネルギーを生み出すような設備にしなければ維持管理コストがかかるだけになってしまう。
- ・車より電車を利用した方がエネルギー効率も良く環境にもやさしいため、市は、駅を中心としたまちづくりを計画すべきである。
- ・まちづくり基本条例第32条2項では『自然環境』の文言だけのため、『温暖化防止』についても表記したほうがよいのではないか。

●ごみ問題について

- ・受益者負担は避けられない問題である。
- ・車社会であることを鑑みると、マイバックよりマイバスケットの方が使い勝手が良いと思われる。個々の店でマイバック・マイバスケット運動に取り組むよりも市内全域または県内全域で取り組むことで、さらに効果が上がるのではないかな。
- ・“もったいない”という気持ちを持つように、意識改革していく必要がある。一朝一夕では変わらないため、ねばり強い啓蒙活動が必要である。
- ・ごみ問題は地域の課題のひとつであり、ルールを守らない等を改善していくには地域ぐるみでの活動が必要である。
- ・市民への啓発はもとより、行政も収集日を増やすなど不具合を改善していく必要がある。
- ・さらには、ごみが出ないような生産工程・販売方法を考え出す必要がある。
- ・ごみ問題は①ごみを出さない。②ごみを生産しない。③出たごみは分別し資源にする。の3とおりの課題に大別できる。 * 1

3. 今後の進め方

- ・次回6月は「太田市のあるべき姿」を検討する最終回となる。今回議論できなかった自然環境と環境教育について引き続き議論し、提言書の作成にむけて検討していく。
- ・各委員は、これまで議論した①地産地消と食育②伝統文化・健康づくりの各テーマも含め、意見用紙を利用し次回の委員会前までに事務局へ提出する。
- ・まちづくり基本条例の条文の改正に関しては、第3小委員会で検討中の改正基準が決まった後に議論する。

*1 ごみを出さない工夫の優先順位 (4R)

- | | | |
|-------|----------------|------------------------|
| ①発生回避 | Refuse(リフューズ) | ごみをなくす。(レジ袋、トレー、包装紙) |
| ②発生抑制 | Reduce(リデュース) | ごみを少なくする。(必要の無い物は買わない) |
| ③再使用 | Reuse(リユース) | 捨てないで繰り返し使う。(ビール瓶、中古品) |
| ④再生利用 | Recycle(リサイクル) | ごみにしないで資源として再生する。(新聞紙) |

[次回会議のお知らせ]

1. 第10回 第2小委員会

【日時】6月10日(火) 午後6時30分から

【場所】太田市役所 10階 政策推進会議室